

手をつなごう

平成18年5月29日
岡山県立東備養護学校
支援部だよりNO. 2

瀬戸内市特別支援ネットワーク会議開催！



去る5月24日、瀬戸内市では初めてのネットワーク会議が開催されました。瀬戸内市教育委員会が中心となって動いてくださり、また関係諸機関の皆様もお忙しい中ご参加くださり無事開催することができました。今回は初顔合わせということもあり、ネットワークの趣旨の説明や自己紹介・支援できる事項などを話し合いました。

ネットワークQ&A

Q：特別支援ネットワークってそもそも何？

A：障害のある方や子どもたちの支援を地域で一貫して行うためのものです。教育だけでなく医療・福祉・労働の関係機関等が参加していること、就学前・就学中・卒業後のそれぞれのライフステージに応じたネットワークをつくっていることが大きな特徴です。

Q：他にはどんなことをするの？

A：一番の大きな仕事はケース会議を開いての支援です。各ネットワークにはコーディネータ役の人がいるので、その人がケースに応じて必要な機関の人を集めて支援をしていきます。その他には関係機関や福祉制度の紹介、公開講座の実施などがあります。

Q：特別支援ネットワーク会議って？

A：ネットワーク全体が集まる会議です。まずお互いの顔と名前、どんな支援ができるのかのを知り合うことが一番の目的かな？自分の所だけでは解決できないケースにぶつかったとき、上手にネットワークを利用することができるようにね。年2回開催する予定です。

Q：ネットワークがなくても連絡を取り合って支援した例もたくさんあるのでは？

A：確かにそういう例もあるでしょう。でも、それはやはり個人の人脈に頼っている部分が多いので、異動があって人が替わったら同じような支援ができなくなる可能性があります。システムとして支援の体制を確立させるためにネットワークは是非必要です。

